

支援学校名	瑞浪市立日吉小学校	担当教員名	上出先生	対象学年・人数	5年生10名
実施日	7月10日(火)		実施場所	白倉川(日吉小学校付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 日吉川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：白倉川とのふれあい方を学ぶ 水生生物を捕まえるにはどのような場所をさがせば良いか、川の中で危険な場所とはどこか、川の形状がどうなっているかを実際に川に入って体験した。			学習内容②：川の危険性について 子供だけで川に入ると危険なため必ず大人と入る必要があること。雨が降ると水位が急激に上がるため、川に近付かないこと等を学んだ。		
					
学習内容③：白倉川の生態を学ぶ 捕まえた水生生物を種類ごとに分け、写真や実物を見ながら、水生生物の名称や特徴を知り、どんな生物が自分たちの身近な川に住んでいるかを学んだ。			学習内容④：白倉川の水質を知る 白倉川の透視度、pH、CODを調べ、川に生息している水生生物の種類と合わせて、身近な川がどの程度きれいかを考えた。		
					
【学習結果】 ・ pH 8.3 ・ 透視度 50 ・ COD 7 ・ 採取した水生生物 14種 カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、スジエビ、サワガニ、コオイムシ、ミズカマキリ、オニヤンマ、ヤマサナエ、アカネ類、マツモムシ、ガガンボ、アメンボ、トノサマガエル			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子供たちが10名と少人数だったため、目が行き届き安全に総合学習を行えた。 ・ 河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしているということを、写真を用いながら説明した。子供たちにも分かるような言葉で説明することに苦労した。 ・ 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学習することができていたように思う。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号(内線)	320	

支援学校名	瑞浪市立釜戸小学校	担当教員名	佐々木先生	対象学年・人数	5年生10名
実施日	7月11日(水)		実施場所	土岐川(駅前大橋付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 土岐川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：土岐川とのふれあい方を学ぶ どのようにすれば水生生物がとれるのか、土岐川の水質や水温、危険な箇所等について、実際に川に入り自ら体験することで学んだ。			学習内容②：川の危険性について 今いる場所で雨が降っていなくても、上流で降った雨によって、川の水が急激に増えることがあるため、注意する必要がある等川に潜む危険性について学んだ。		
					
学習内容③：土岐川の生態を学ぶ 捕まえた水生生物を集計し、水生生物の名称と特徴を知ることにより、自分たちの身近な川にはどのような生物がどれぐらいいるのかを学んだ。			学習内容④：土岐川の水質を知る 川の水を採取し、PHおよびCOD、透視度を調べた。その結果と川に住んでいる水生生物の種類の2つの視点から自分たちの川の水質がどのようなものなのかを学んだ。		
					
<b>【学習結果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ pH 7</li> <li>・ 透視度 95.5</li> <li>・ COD 7</li> <li>・ 採取した水生生物 18種 カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、アブラハヤ、ニゴイ、シマドジョウ、ミナミヌマエビ、サワガニ、コオニヤンマ、オニヤンマ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビケラ、ガガンボ、ヒラタドROMシ、タニシ、トノサマガエル、ウシガエル、アマガエル</li> </ul>			<b>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比較的少人数であったため、子供達一人一人に目が行き届き安全に学習を進めることができた。</li> <li>・ 河川工事は確かに自然を破壊する行為かもしれないが、人の命や財産を守る上でなくてはならないものであると、言うことを写真等で説明した。難しい言葉を使わない等子供達に伝わるように話すことに苦労した。</li> <li>・ 意欲的に川で水生生物を捕まえる姿が見て取れ、川に対する興味を持ってもらえたように思えた。</li> </ul>		
備考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号(内線)	320	

支援学校名	瑞浪市立土岐小学校	担当教員名	阿部先生	対象学年・人数	5年生69名
実施日	9月26日(水)		実施場所	土岐川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 土岐川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：土岐川とのふれあい方を学ぶ 河川の形状や水生生物の多く住む場所、水生生物の捕獲方法を学び、実際に自ら川に入って体験することで、川で遊ぶことの楽しさを知った。			学習内容②：土岐川の危険性について 普段浅くて流れの緩やかな川であっても、雨が降ると、急激に水位が増加し、流れが速くなることもあるため、雨が降りそうな時は川に近付かないこと等を学んだ。		
					
学習内容③：土岐川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、どんな特徴の水生生物が、どれぐらいの数いるのかを把握し、自分達の身近な川の生態系について学んだ。			学習内容④：土岐川の水質を知る 土岐川の水を採取し、pH、COD、透視度について調べると同時に、水性生物の生息状況を調べ、2つの観点から土岐川がきれいなのか、汚いのかを判断した。		
					
【学習結果】 ・pH8.5、6.0 ・透視度80、50 ・COD7、10 ・採取した水生生物 21種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、ニゴイ、ドジョウ、シマドジョウ、スッポン、トノサマガエル、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、サワガニ、カワゲラの仲間、カゲロウの仲間、コオニヤンマ、ミズカマキリ、ヒラタドロムシ、ヒル、ヒゲナガカワトビケラ、マシジミ、サカマキガイ			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・護岸や魚道、水路についてそれぞれの役割を説明することで、私たちの行っている工事は必要なものであり、自然環境のことも考えながら行っていることを伝えた。子供たちに分かる言葉を選んで説明することに苦労した。 ・今度は親と一緒に来る等、今回の学習を通して川への関心が高まったことが見て取れた。 ・子供達が危険な状況にならないように、一人一人に目を配るように努めた。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号（内線）	320	

支援学校名	名古屋市立稲西小学校	担当教員名	中嶋先生	対象学年・人数	3年生60名
実施日	10月10日(金)		実施場所	笠原川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 笠原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：笠原川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな所にいるのか、どのようにしたら捕まえられるのか。河川の形状はどうなっているか、危険な場所はどこか等を実際に体験しながら学んだ。			学習内容②：笠原川の危険性について 雨が降ると川の水が急激に増えて流れも速くなるため危険であるため、雨の時は川に近付かないようにすることを写真を見ながら学んだ。		
					
学習内容③：笠原川の生態を学ぶ 自分達の身近な川にはどんな特徴の生物が、どれぐらいの量いるのかを、実際に採取した生物を分類し、観察することで学んだ。			学習内容④：笠原川の水質を知る 笠原川はきれいなのか汚いのかを、笠原川に生息している生物の種類と採取した水のpH、COD、透視度の両方の観点から考えた。		
					
【学習結果】 ・ pH 8.5 ・ 透視度 100 ・ COD 7 ・ 採取した水生生物 16種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、モツゴ、アブラハヤ、ギンブナ、ドジョウ、ナマズ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、オナガサナエ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、オニヤンマ、ヒル、ミズムシ			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 橋脚の下が非常に深くなっており、子供たちが入らないように注意した。 ・ 気温が低く、風邪をひかないように上半身まで濡れてしまった子供たちに対し、着替えをするように促した。 ・ 魚道の役割や護岸の役割を子供たちの理解しやすい言葉で説明した。 ・ 夢中になって学習に取り組んでおり、川への興味を持ってもらえたと思う。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号（内線）	320	

支援学校名	恵那市立岩邑小学校	担当教員名	古田先生	対象学年・人数	4年生 54名
実施日	6月26日(火), 7月10日(火)		実施場所	岩村川(矢坪橋上流)	
テーマ	「ダム、災害及び河川環境を学ぶ」 ダムの役割及び岩村川の過去の災害状況や現在の河川環境を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：岩村ダムについての役割を学ぶ 岩村ダムについて説明し、実際にダムの堤体や監査廊を歩いてもらいダムの役割について学んだ。			学習内容②：川の恐ろしさを学ぶ 過去の被災状況を写真で示し、川の恐ろしさ・治水の大切さについて知ってもらった。周辺の水利用状況から利水対策の大切さについても知ってもらった。		
					
学習内容③：岩村川の生態を学ぶ 実際に川に入って、岩村川の水生物をグループに分かれて採取を行った。様々な生物の名称を学ぶとともに、どんな生物がどのくらい生息しているかを学び、身近な岩村川の生態について学んだ。			学習内容④：岩村川の水質を知る 採取した水生物のグループ分けを行い、その生物の数から生息環境を推測し、そこから岩村川の水質がどうだったかについて取りまとめ発表してもらった。		
					
<b>【学習結果と考察】</b> ・生息を確認できたのは、カゲラ、サガニ、トビケラ、ヘトホ、イシキガイ、カマナ、コニヤマ、タニ、ヒル、ミズカマキリ、ハゲトソバ、オタマジャクシ、メダカ、カヨシホリなど。 きれいな水・少しきたない水に生息するとされる生物が多く採取されたことから、岩村川の水質は比較的清いと思われる。			<b>【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】</b> ・過去の災害で被災した岩村川と復旧後の岩村川の写真を並べて川の恐ろしさを学んでもらった。 ・普段入ることの無いダムの監査廊や管理棟に入り、岩村ダムの大きさや役割を体感してもらえたと思う。 ・身近な河川の中に入り生物調査をしたことで、「また川に来たい」と川へ興味持ってもらえたことができた。 ・最後に川遊びの五箇条を伝えたが、川に対する危険意識を持ちつつ川を楽しんでもらいたい。		
備考	岐阜県自然工法管理士 4人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：矢川 英之	電話番号(内線)	345	

支援学校名	中津川市立田瀬小学校	担当教員名	武田先生	対象学年・人数	3年生 7名
実施日	9月5日(水)		実施場所	付知川(新田瀬橋下流)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 付知川の現状を学ぶ		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 付知川に入り、水生生物を採取することで、川での歩き方を身につけるとともに、どのように生物が生息しているかを学んだ。			学習内容②：付知川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、名称を知るとともに身近な付知川にどんな生物がどれくらい生息しているかを体験した。		
					
学習内容③：付知川の水質を知る 採取した生物を種類に分けることで、付知川の大まかな水質(きれいかどうか)を判断し、とりまとめを行った。			学習内容④：		
					
<b>【学習結果と考察】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生息を確認できたのは、カゲラ、カゲ、サガニ、トビケラ、コニヤム、カヨシボリなど。</li> <li>きれいな水に生息するとされる生物が多く採取されたことから、付知川の水質は比較的きれいであると思われる。</li> </ul>			<b>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な河川で生物調査の結果から河川の水質を判断することができる事が分かってもらうことができた。</li> <li>時間が少なく、環境以外の面(治水など)について話をする事ができず、河川事業の重要性について説明することができれば良かった。</li> </ul>		
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：矢川 英之	電話番号(内線)	345	

支援学校名	下呂市立上原小学校	担当教員名	今井先生	対象学年・人数	4年生 10名
実施日	7月5日(木)		実施場所	輪川(橋戸橋)	
テーマ	カワゲラウォッチング 土砂災害について 河川水難事故防止について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	下呂市 環境部 環境課 飛騨振興局 環境課	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 輪川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学んだ。			学習内容②：輪川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類毎に分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な輪川にどんな生物がどのくらい生息しているのか体感した。		
					
学習内容③：土砂災害対策について 土砂災害についてパネルや模型を使用して、土砂災害の特徴と対策施設、避難方法について説明した。			学習内容④：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、川遊びをする際の日頃の注意点について説明した。		
					
【学習結果と考察】 ・ カワゲラウォッチングでは河川上流部のきれいな水質に生息する生物の他、やや汚い水質に生息する生物もわずかながら確認され、河川も水質維持の重要性を実感してもらった。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子供たちに身近な川に生息している生物について興味を持ってもらえた。 ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえた。 ・ 身近なところに土砂災害の危険箇所があることを認識してもらえた。		
備考	5月18日(金) 下呂市 環境部 環境課と打合せ 岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：野村 達弥	電話番号(内線)	322	

支援学校名	下呂市立萩原小学校	担当教員名	榎先生	対象学年・人数	5年生 84名
実施日	7月10日(火)		実施場所	桜洞川(桜橋下流)	
テーマ	カワゲラウォッチング 河川水難事故防止について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	下呂市 環境部 環境課 飛騨振興局 環境課	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 桜洞川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学んだ。			学習内容②：桜洞川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類毎に分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な桜洞川にどんな生物がどのくらい生息しているのか体感した。		
					
学習内容③：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、川遊びをする際の日頃の注意点について説明した。			学習内容④：		
					
【学習結果と考察】 ・ カワゲラウォッチングでは河川上流部のきれいな水質に生息する生物が確認され、水質の良さを実感できた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子供たちに身近な川に生息している生物について興味を持ってもらえた。 ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえた。 ・ 川遊びで注意する点について理解してもらえた。		
備考	5月18日(金) 下呂市 環境部 環境課と打合せ 岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：野村 達弥	電話番号(内線)	322	



支援学校名	下呂市立竹原小学校	担当教員名	小池先生	対象学年・人数	5年生 37名
実施日	7月11日(水)		実施場所	竹原川(新田橋上流)	
テーマ	カワゲラウォッチング 土砂災害について 河川水難事故防止について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	下呂市 環境部 環境課 飛騨振興局 環境課	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 竹原川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学んだ。			学習内容②：竹原川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類毎に分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な竹原川にどんな生物がどのくらい生息しているのか体感した。		
					
学習内容③：土砂災害対策について 土砂災害についてパネルや模型を使用して、土砂災害の特徴と対策施設、避難方法について説明した。			学習内容④：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、川遊びをする際の日頃の注意点について説明した。		
					
【学習結果と考察】 ・ カワゲラウォッチングでは河川上流部のきれいな水質に生息する生物が多数確認され、水質の良さを実感してもらった。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子供たちに身近な川に生息している生物について興味を持ってもらえた。 ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえた。 ・ 身近なところに土砂災害の危険箇所があることを認識してもらえた。		
備考	5月18日(金) 下呂市 環境部 環境課と打合せ 岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：野村 達弥	電話番号(内線)	322	

支援学校名	下呂市立尾崎小学校	担当教員名	梅田先生	対象学年・人数	4年生 17名
実施日	8月31日(金)		実施場所	山之口川(中霧橋下流)	
テーマ	カワゲラウォッチング 土砂災害について 河川水難事故防止について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	下呂市 環境部 環境課 飛騨振興局 環境課	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 山之口川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学んだ。			学習内容②：山之口川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な山之口川に、どんな生物がどれくらい生息しているのかを体験した。		
					
学習内容③：土砂災害対策について 土砂災害についてパネルや模型を使用して、土砂災害の特徴と対策施設、避難方法について説明した。			学習内容④：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、川遊びをする際の日頃の注意点について説明した。		
					
【学習結果と考察】 ・ 山之口川のカワゲラウォッチングではカワゲラ、カゲロウ類など、きれいな水に生息する生物が確認され、水質の良さを実感していた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子供たちに身近な川に生息している生物について興味を持ってもらえた。 ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえた。 ・ 身近なところに土砂災害の危険箇所があることを認識してもらえた。		
備考	5月18日(金) 下呂市 環境部 環境課と打合せ 岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：後藤 智之	電話番号(内線)	323	

支援学校名	高山市立宮小学校	担当教員名	武川先生	対象学年・人数	5年生 36名
実施日	5月31日(木)		実施場所	宮川(宮小学校付近)	
テーマ	カワゲラウォッチング及び豪雨時の避難について	分類	治水・環境・砂防・防災		
		連携機関	飛騨振興局環境保全担当 高山市生活環境課		
学習内容①：豪雨時の土砂災害について 大雨が降った際の土砂災害発生メカニズムについて説明し、豪雨時の避難について学習した。		学習内容②：川の自然環境について 宮川河道内の水生生物を採取することにより、川の触れ合い方について学習した。			
					
学習内容③：宮川の清濁状況について 採取した水生生物が好む水質について学ぶことにより、宮川がどの程度きれいな水かを知った。		学習内容④：			
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> <li>宮川はカワゲラが多く確認されており、その結果よりとてもきれいな水質であることが確認されました。</li> <li>実施時期が春季であったため、水生昆虫の個体が小さく、あまり採取できないようだった。</li> <li>土砂災害発生の流れについて説明することで、豪雨時に避難することの大切さについて知ることができた。</li> </ul>		【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>事前の説明も含めて屋外での総合学習であったが、写真やイラストなどを用いることにより、子供たちに興味を持ってもらえた。</li> <li>水生生物の採取を行う場所を、直前に確認しなかったため、現地が濁水により枯れている事に気づくのが遅くなり、代替え地を探す必要が発生した。</li> </ul>			
備考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：林 靖弘	電話番号(内線)	395	

支援学校名	高山市立北小学校	担当教員名	丸山先生	対象学年・人数	4年生 139名
実施日	6月28日(木)		実施場所	宮川(緑地公園付近)	
テーマ	カワゲラウォッチング及び河川の危険性や砂防について	分類	治水・環境・砂防・防災		
		連携機関	飛騨振興局環境保全担当 高山市生活環境課		
学習内容①：豪雨時の土砂災害について 大雨が降った際の川の状況や土砂災害について確認し、普段からの心構えについて学んだ。		学習内容②：水生生物について 水質毎に生息する水生生物が異なることを学んだ。			
					
学習内容③：宮川の水生生物を採取 宮川に入って、水生生物を採取することで、河川との接し方について学習した。		学習内容④：宮川の清濁について確認 採取した水生生物の種類を調べることで、宮川の状況を調査した。			
					
<b>【学習結果と考察】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>上流の宮小学校で行った時に比べて、採取された水生生物は、すこしきれいな水もしくはすこし汚い水を好む生物が多かった。</li> <li>豪雨時の河川についての状況を知ること、災害時の危険性について知ることができた。</li> </ul>		<b>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1学年139人という大人数であったため、説明及び誘導がスムーズにうまくいかなかった。次回は今回の反省を生かして対応したい。</li> <li>河道内に入り、水生昆虫を採取することにあまり慣れているようでなく、珍しい体験を行うことで興味をもってもらえたと思う。</li> </ul>			
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：林 靖弘	電話番号(内線)	395	

支援学校名	高山市立南小学校	担当教員名	長谷川 先生	対象学年・人数	4年生 85名
実施日	7月5日(木)		実施場所	苔川(岡本橋付近)	
テーマ	カワゲラウォッチング及び豪雨時の 災害について	分類	治水・環境・砂防・防災		
		連携機関	飛騨振興局環境保全担当 高山市生活環境課		
学習内容①：豪雨時の土砂災害について 大雨が降った際に、土石流がどのようにして発生するかについて勉強し、避難することの重要性について学んだ。		学習内容②：川とのふれあいについて 苔川の河道に入り、水生生物を採取することで、川とのふれあい方法について学んだ。			
					
学習内容③：川の状態について 採取した水生生物の種類や数を調査することで、苔川の水質について調べることができた。		学習内容④：			
					
【学習結果と考察】 ・ 岡本橋付近の苔川ではすこしきたないに分類される水生生物が確認されたため、あまり良い水質ではないことが確認された。 ・ 土砂災害について、発生の流れや被害について説明し、危険性について理解を得た。		【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 紙芝居形式で説明することで、比較的小児たちに興味をもってもらうとともに、分かり易く説明できた。 ・ 水生生物を捕まえることに子供たちが積極的に参加しており、河川について興味をもっていた。			
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：林 靖弘	電話番号(内線)	395	

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	野村先生・小邑先生	対象学年・人数	4年生 55名
実施日	5月30日(水)、6月5日(火)、6月12日(火)、7月17日(火)		実施場所	古川西小学校教室・宮川	
テーマ	「身近な河川環境」 現地調査等を通して宮川の環境への理解を深める。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：宮川の環境を知る(座学) 現地調査に先立ちカワゲラウォッチングに関する座学を行った。なぜカワゲラウォッチングを行うことで水質の評価ができるのかについて説明を行った。			学習内容②：宮川の環境を知る(カワゲラウォッチング) カワゲラウォッチングを行い宮川に住む生物を採取した。採取した生物を指標生物として宮川の水質を評価した。		
					
学習内容③：宮川の周辺環境を知る(ヒメシロチョウ観察) 宮川河川敷に生息するヒメシロチョウ(環境省レッドリスト記載種)の観察を行い、貴重な河川周辺環境について学ぶことを目的とした。			学習内容④：結果のとりまとめ これまで行ってきた学習内容をもとに結果のとりまとめを行い、宮川の水質について評価を行った。		
					
<p><b>【学習結果と考察】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カワゲラウォッチングの結果、きれいな水に生息するといわれるヒゲナガカワトビケラ、マダラカゲロウ等が採取された。</li> <li>ヒメシロチョウも複数匹観察された。</li> </ul> <p>以上の結果より宮川古川西小学校裏の地点の水質は良好であり、周辺環境も含め多様な自然環境が残る地域であると考えられる。</p>			<p><b>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近に豊かな環境があるということを児童に認識してもらうことができた。</li> <li>学習内容の事前授業、現地調査後の結果取りまとめを行ったことで学習内容に関する児童の理解を深めることができた。</li> <li>授業は環境に関する内容をメインに取り扱ったが、環境一辺倒でなく自然との共生が大切だということをもっと伝えることが今後の課題であると感じた。</li> </ul>		
備考	5月30日：小学校で事前授業 6月12日：調査結果取りまとめ 岐阜県自然工法管理士 3人参加		6月5日：宮川現地調査 7月17日：ヒメシロチョウ観察会		
記入者	所属：河川砂防係	氏名：葛口 利貴	電話番号(内線)	2263	



支援学校名	美濃市立牧谷小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	23ページ
-------	-----------	-----------	-------	-------

【児童らの感想

上段：学級通信、下段：教室掲示パネル】

平成24年6月8日(金)  
牧谷小学校 5年生  
NO.9

**輝け! 姿で示す5年生**

**坂田川の水質を調査~カワゲラウォッチング~**

今週6日(水)は、美濃土木事務所河川砂防課の遠藤さんをはじめ、3名の方に助け合いながら行いました。

まず、遠藤さんが子どもたちに、「坂田川はきれいだとどう思う？」と必ず聞くと、ほとんどの子が手を挙げました。

坂田川に入って、右をひっくり返したり、夕までとっただけで、水中生物をたくさん採れました。

採れた水中生物を分類すると、「ヒラタカゲロウ」「カワゲラ」等、きれいな水にしかいない虫がいました。しかし、「ヒラタドムシ」や「オオシマトビケラ」等、少し汚れた水にすむ生き物もたくさん採れました。

さらに、水質検査(COD)を行いました。

今回の調査では、「きれい」も「少し汚くない」「汚くない」「汚ても汚くない」の4段階のうち、坂田川の水は「少し汚くない」という結果になりました。

子どもたちは、「坂田川はきれい」と、褒めを受けていたため、今回の結果には少し驚いていました。

今後、遠藤さんに学校に来ていただき、「坂田川が汚れるのが」「川を汚さないために」、どうしたらよいか、というお話をたくさん聞いていただく予定です。

6月8日にカワゲラウォッチングがありました。

川の中にある石をひっくり返して、よく見ると、小さな虫がたくさんいました。今まで川に遊びに行った時は、魚をとるために石を移動させていたけど、全然気づきませんでした。でも、進めればよく見ると、小さな虫がいっぱいいたので、今夜川に遊びに行った時には、魚以外にもいろいろ捕まえて、観察しようと思いました。

次に、水で水のきれいさを調べました。目に入るときしゃんなので、注意しようと思いました。3段階の箱ともがって「B」でした。真ごとに数値が違っていたけど、坂田川の水は「ちょっと汚くない」と分かってショックでした。

だから、これからは川をきれいにしたいと思いました。

☆魚や虫のみなさんでも、流しこぼると川を汚すと聞きましたね。川を汚さないために、まづ自分たちができることをやってみよう。(中略)

# 6/6 カワゲラウォッチング



**美濃土木事務所**  
美濃土木事務所河川砂防課の遠藤さんをはじめ、3名の方に助け合いながら行いました。

**遠藤さんの質問**  
「坂田川はきれいだとどう思う？」  
ほとんどの子が手を挙げました。



高橋さんのアドバイスのもと、石のうららなどから見つけた生物を種類に分類しました。

今回の調査では、坂田川は『少し汚くない』『汚でもない』『汚ても汚くない』の4段階のうち、「少し汚くない」という結果になりました。

坂田川の水が少し汚くないと分かって、残念だな。坂田川をもっときれいにしたいな。

記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：遠藤協一・奥原常志	電話番号(内線)	323
-----	------------	--------------	----------	-----



支援学校名	郡上市立明宝小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	26ページ
-------	-----------	-----------	-------	-------

【総合的な学習の時間を終えた児童らの活動】

全校児童や父兄の前で、土石流や砂防えん堤、魚道をテーマにした演劇の発表がおこなわれました。(総合学習の感想文も併せていただきました)



砂防えん堤・魚道の見学ありがとうございました。学習発表会で「守ろう美しい川 私たちの明宝を」をテーマにした劇(土石流・砂防えん堤・魚道)をしました。全校の子やお家の人に伝えることができました。

明宝小学校 4年生より

記入者	所属：河川砂防第二係	氏名：河村雅美・荒引圭俊	電話番号(内線)	341
-----	------------	--------------	----------	-----



支援学校名

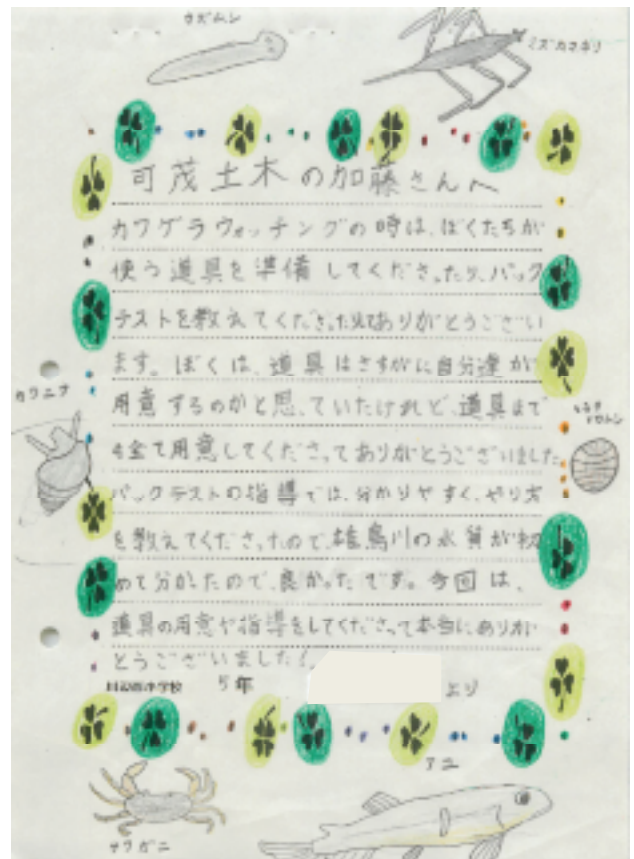
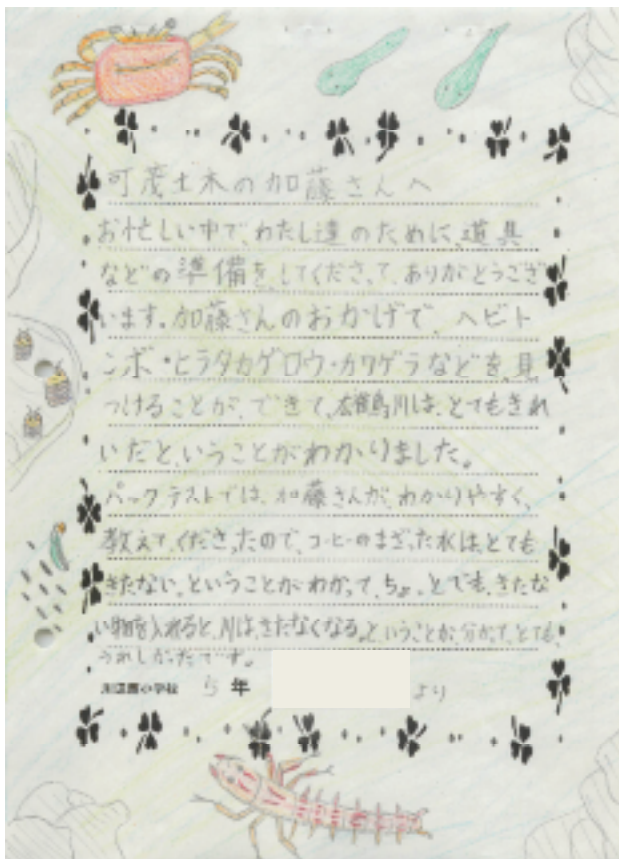
川辺町立川辺小学校

( 1 / 1 )

関連ページ

29ページ

【総合的な学習の時間を終えた児童の感想（主なものを抜粋）】



記入者

所属：河川砂防係

氏名：加藤 一郎

電話番号(内線)

324

支援学校名

御嵩町立上之郷小学校

( 1 / 1 )

関連ページ

30ページ

【新聞記事】

御嵩 上之郷小

御嵩町上之郷小学校に可茂土木事務所の河川砂防課職員が訪れ、5・6年生に「災害から学ぶ、災害に備える」と題した出前授業をした。(斉藤明彦)

土木事務所職員が授業

災害への対応策 学べ



児童は昨年9月の台風15号で山側から濁流と土砂が押し寄せ、正門の扉が閉まらなくなり、校庭が水に浸った。同課職員は洪水が起りやすい理由に、ゲリラ豪雨のほかに建物・舗装道路が増えて貯水力が減っているなど説明。砂防ダムや土砂崩れを防ぐ壁をつくる工事で災害に備えていると話した。

児童は昨年の豪雨時の

体験を語り「家の近くの橋が流されてしまった」  
「車で避難しようとしたけれど、なかなか進まなかった」などと振り返った。職員は、インターネ

ットなどを使って情報を得て早く避難し、洪水時には長靴だと水が中に入らなくなって動きづらくなるため、運動靴で移動することなどを指導した。

昨年の台風15号の体験を話す児童＝御嵩町上之郷小学校で

平成24年10月31日(水) 中日新聞 可児版

記入者

所属：河川砂防係

氏名：加藤 一郎

電話番号(内線)

324

支援学校名

瑞浪市立瑞浪小学校

( 1 / 1 )

関連ページ

40ページ

【新聞記事】



「ガサガサ」に挑戦

瑞浪小5年生 万尺川で体験学習

瑞浪市立瑞浪小学校 園や農園での活動をの5年生約80人が4 週はながら、タネで岸日、近くの万尺川で水 辺を歩ける体験学習 水質を調べ、生き物を探したり、 などに行きました。 万尺川は、川の中を歩 きたのが、自然な環境 での体験学習です。 万尺川は、川が深さ

平成24年7月5日(木) 毎日新聞 岐阜版

と水質を調べ、生き物を探したり、などに行きました。万尺川は、川が深さ... (小林 三恵)

川の生き物見つけた

瑞浪小 5年生 ヤゴやザリガニ探す



瑞浪市立瑞浪小学校の 園や農園での活動をの5年生約80人が4 週はながら、タネで岸日、近くの万尺川で水 辺を歩ける体験学習 水質を調べ、生き物を探したり、 などに行きました。 万尺川は、川の中を歩 きたのが、自然な環境 での体験学習です。 万尺川は、川が深さ

平成24年7月6日(金) 中日新聞 東濃版

記入者

所属：河川砂防係

氏名：塚田 正俊

電話番号(内線)

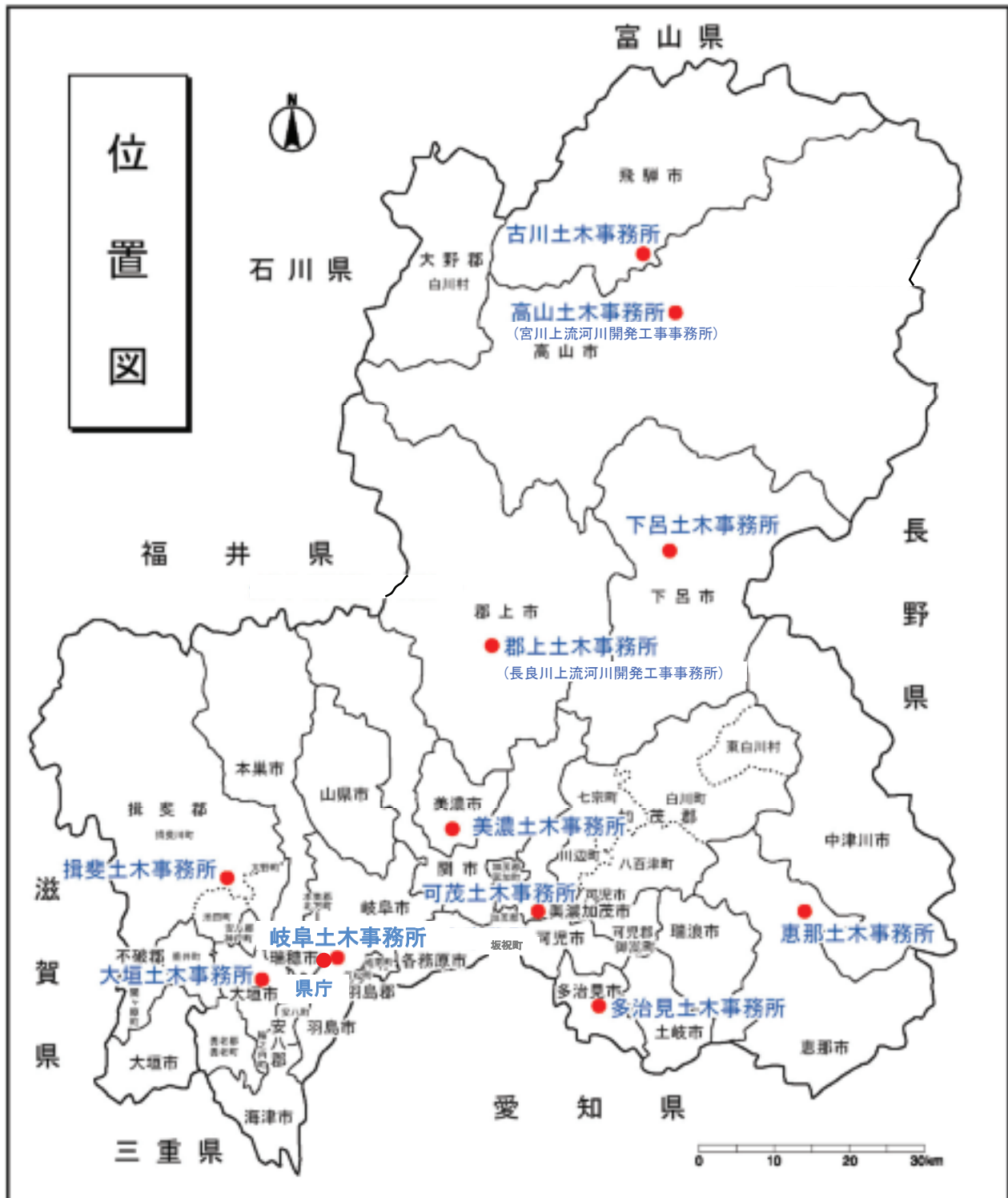
320



# 支援窓口一覧表

## 岐阜県管内図

平成25年3月31日現在



平成25年3月31日現在

所属	課、担当	TEL	所管市町村名	所在地
		FAX		
県土整備部	河川課	058-272-1111	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
		058-278-2753		
県土整備部	砂防課	058-272-1111	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
		058-278-2755		
岐阜土木事務所	河川砂防課 河川第一担当	058-215-0978	岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、 岐南町、笠松町、北方町	〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53 ふれあい福寿会館内
	河川砂防課 河川第二担当	058-215-0979		
	河川砂防課	058-278-0052		
	河川砂防第三係			
大垣土木事務所	河川砂防課 河川砂防第一係	0584-73-1111	大垣市、垂井町、関ヶ原町、神戸町、安八町、輪之内 町、海津市、養老町	〒503-0838 大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎内
	河川砂防課	0584-82-4960		
	河川砂防第二係			
揖斐土木事務所	河川砂防課	0585-23-1111	揖斐川町、大野町、池田町	〒501-0603 揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内
	河川砂防係	0585-23-1105		
美濃土木事務所	河川砂防課 河川砂防第一係	0575-33-4011	関市、美濃市	〒501-3756美濃市生櫛 1612-2 中濃総合庁舎内
	河川砂防課	0575-33-4901		
	河川砂防第二係			
郡上土木事務所	河川砂防課 河川砂防第一係	0575-67-1111	郡上市	〒501-4292 郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎内
	河川砂防課	0575-65-4966		
	河川砂防第二係			
可茂土木事務所	河川砂防課	0574-25-3111	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗 町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町	〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井大 脇2610-1 可茂総合庁舎内
	河川砂防係	0574-25-0355		
多治見土木事務所	河川砂防課	0572-23-1111	多治見市、土岐市、瑞浪市	〒507-8708 多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内
	河川砂防係	0572-25-7224		
恵那土木事務所	河川砂防課 河川砂防第一係	0573-26-1111	中津川市、恵那市	〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067- 71 恵那総合庁舎内
	河川砂防課	0572-26-0417		
	河川砂防第二係			
下呂土木事務所	河川砂防課	0576-52-3111	下呂市	〒509-2592 下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内
	河川砂防係	0576-52-1948		
高山土木事務所	河川砂防課	0577-33-1111	高山市(旧国府町、上宝村を除く)、白川村	〒506-8688 高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内
	河川砂防係	0577-33-1086		
古川土木事務所	河川砂防課	0577-73-2911	飛騨市、高山市(旧国府町、上宝村)	〒509-4263 飛騨市古川町上野617-1
	河川砂防係	0577-73-3346		



平成24年度版 川を題材とした  
総合的な学習の時間活動事例集

平成25年3月発行

編集・発行 岐阜県県土整備部河川課・砂防課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL 058-272-1111 (代表)

FAX 058-278-2753 (河川課)

URL <http://www.pref.gifu.lg.jp/kendo/michi-kawa-sabo/kasen/>

MAIL [c11652@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11652@pref.gifu.lg.jp) (河川課)

協 賛 岐 阜 県 河 川 協 会  
岐 阜 県 砂 防 協 会